

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 2 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	アセスメント、介護計画書や意見、評価が分かりやすい書式の検討が必要。	入居者一人ひとりの状況を把握する為にアセスメント、介護計画、モニタリングを明確にし、状況に応じた生活援助を行う。	・個別の各書式を作成する。 (アセスメント、介護計画、モニタリング) ・職員間の意見交換の場を設ける。	3ヶ月
2	33	終末期ケア、その他、環境体制を整え、入居者が安心して生活が出来るよう工夫する必要がある。	・日頃からかかりつけ医と密に連絡を図り、入居者の異常の早期発見に努める。 ・共同スペース、居室空間(動線やベッド等)を見直す。	・家族・かかりつけ医・職員が常日頃から入居者について情報共有を行う(通院・往診等) ・定期的に共同スペース、居室の環境整備(衛生面等含む)の実施。	3ヶ月
3	35	万が一の災害に備え定期的に災害訓練、地域との連携が必要。	川副ネットワークによる防災マニュアルの見直し、地域との連携に努める。	・連絡経路の再確認(マニュアル作成) ・日中・夜間の訓練と職員全員が災害意識を強める	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。